

市への意見・要望（分野：教育）

（令和5年7月1日～令和5年9月30日受付分）

受付日	件名	意見・要望の内容	市の回答・対応	担当課
7/19	小中学校登下校時の熱中症対策について	世間では大人の熱中症対策は盛んに行われていますが、子供の対策が不十分だと思います。死亡など大きな出来事かあってから対策するのではなく、至急夏休み明けまでに対策をしてあげてください。お願いします。小学生らあんな小さな帽子では登下校時の日差しは防げません。中学生はなおさらです。また、荷物か重すぎます。冷感タオルは許可されていますが、使用すると服まで濡れるので気持ち悪くて使えません。登校時は冷たいアイスノンやクールネックバンドで身体を冷やせますが、下校時1番暑い時には溶けていて意味がありません。せめて、保冷剤を下校時まで凍らせてあげるのはいかがでしょうか。傘を許可して頂いても、見た目を気にする年頃の男子には現実的ではありません。夏だけ日除けが出来るハットや、ハンディファンの使用を認めて下さい。中学生は距離が長いので夏だけ、巡回バスをスクールバスに併用してあげてください。命を守る対策をして下さい。	<p>小中学校の熱中症対策については、子どもたちの安全が第一と考えております。登下校時の熱中症対策として、登下校中にも水分補給できるように、水筒を持参し、のどが渇く前に定期的に水分を摂ったり、こまめに日陰で休憩したりするように促しています。また、日傘や冷却タオルの使用を奨励しておりますが、奨励するだけでなく、養護教諭とも連携し、子どもたちが自ら熱中症リスクを軽減できるように、水分補給の重要性や日傘への理解について、指導に努めているところです。</p> <p>登下校時の荷物においては、家庭学習で必要でない教科書は学校のロッカー等に保管し、子どもの負担をできる限り減らすよう配慮しています。</p> <p>保冷材の冷却については、保健室の冷蔵庫の大きさや衛生的な観点から、ハンディファンの使用については、管理の観点から、難しいと考えます。</p> <p>また、巡回バスにおいても、予算や契約の関係で、対応は難しいと考えます。</p> <p>夏休み以降も引き続き、暑い日が続くことから、登下校時の熱中症対策を子どもたち自身ができるように、学校に指導してまいります。また、学校で体力づくりや、日頃から睡眠や食事をきちんと摂るように、保健だより等を通して、家庭とも連携していきます。</p>	学校教育課
9/1	自転車通学について	猛暑の中顔を真っ赤にしながら、うだるように歩く中学生が心配です。せめて、夏だけでも自転車通学可能にしてはいかがですか？大変危険に思います。	<p>小中学校の熱中症対策については、子どもたちの安全が第一と考えております。登下校時の熱中症対策として、登下校中にも水分補給できるように、水筒を持参し、のどが渇く前に定期的に水分を摂ったり、こまめに日陰で休憩したりするように促しています。また、日傘や冷却タオルの使用を促しています。また、養護教諭とも連携し、子どもたちが自ら熱中症のリスクを軽減できるように、水分補給の重要性、日頃から睡眠や食事をきちんととることの大切さ等について、保健だより等を通じて、子どもや保護者にもお伝えしています。</p> <p>中学生の登下校の自転車通学においては、安全指導や自転車の管理の観点から、難しいと考えます。自転車の危険運転や整備不良による事故が多発していることから、道路交通法が改正されました。自転車通学中には被害者にも加害者にもなる可能性があることから、自転車通学にあたっては、「車道が原則」「左側通行」といったルールやマナーを徹底すると同時に、家庭とも連携して安全基準に則った自転車整備が必要になります。また、学校での自転車の保管場所や管理の仕方、雨天時の通学においても課題があります。</p> <p>2学期に入り、暑い日が続くことから、登下校時の熱中症対策を子どもたち自身ができるように、引き続き、学校を通じて指導してまいります。</p>	学校教育課